

あおば

発行: おぐに荘保護者会

新潟県長岡市小国町新町 852-4

救護施設 おぐに荘

TEL 0258-95-3400

FAX 0258-95-3451

メール oguni852@nct9.ne.jp

ホームページ <http://www.kashikari-fukushi.com>



第37号

SAFETYNET

保護者の皆様、日頃からおぐに荘の運営にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。また、地域の皆様、関係機関の皆様には、様々な場面でお力添えをいただき感謝申し上げます。

さて、おぐに荘は、昭和56年に開所し今年で37周年を迎えました。昭和、平成、そして来年5月には新しい年号となるとの発表があり、新時代の到来と共に時の流れを感じます。また、近年、救護施設をめぐる状況も大きく変化してきております。このような中、おぐに荘でも大きな変化がありました。

おぐに荘は開所より、利用定員を「80名」として運営してまいりました。しかし、数年前より利用者様の高齢化・病弱化により退所される方が増え、昨年度末には地域移行による退所もあり、急激に利用者数の減少が進みました。減少に歯止めを掛けるために様々な取り組みを行ってまいりましたが、5月末の利用者数は71名となっております。施設運営の適正



施設長
山崎美千代

「定員変更」を行いました

施設長挨拶



化を図るために、県知事へ定員変更の申請を行い、認可をいただきました。今年度より定員を80名から「70名」に変更させていただきます。利用者様の平均年齢も68歳となりましたが、皆様活動的で、日々和やかに生活されています。

また、平成28年度から開始した居宅生活訓練事業、今年度から実施している保護施設通所事業は、多くの方々のご協力により順調に進んでおります。

昨年度からの取組みとして、救護施設を知っていただくことを目的に、行政様、関係病院様、支援事業所様等をお招きしておぐに荘紹介・施設見学会を行っております。また、セーフティネットの施設としての役割を果たすために、緊急利用・一時的利用も継続して行っております。

皆様のお力をお借りするだけでなく、おぐに荘がお役に立てることを進め、地域に根差した施設を目指していきたいと思っております。

皆様のご厚情に御礼申し上げますとともに、今後とも指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年度 保護者会活動年間予定

- 4月21日(土)・・・保護者会総会・花見会 (第1回面会日)
- 6月16日(土)・・・保護者会協力活動 (第2回面会日)
- 11月10日(土)・・・ふれあいまつり (第3回面会日)

利用者の皆さんは面会をととても楽しみにされております。多くの方の参加をお待ちしております。また、面会日以外の面会も大歓迎です。

平成29年度 保護者会活動 ～活動風景～

保護者会総会・花見会



保護者会協力活動



ふれあいまつり



保護者会より (保護者会会長挨拶)



保護者会 会長
伊丹 文男

四月二十一日に、おぐに荘保護者会総会が開催されました。ご多忙の中、大勢の皆様から、ご参加頂き、有難うございました。

この総会を実施するにあたり、三月十七日に保護者会理事会在開催されました。その中で、「私達は、保護者会の行事に参加しているだけで、役員としての活動は何もしていないのではないか」という意見が上がりました。話し合いの結果、今回の総会から弁当の配布や片付け等を利用者の皆様や職員の皆様と一緒にやることになりました。今まで職員の皆様にお任せしていましたが、実際に後片付けを行ってみると、手間のかかることが分かりました。また、利用者の皆様や職員の皆様と話し合いながら作業を行うことで、よりおぐに荘に親近感を持つことが出来ました。

おぐに荘保護者会の今年の年間行事は、三つあります。四月の保護者会総会・花見会、六月の協力活動(庭の草



取りや、荘内での車椅子や窓の清掃、十一月のふれあいまつり(利用者の皆様と一緒に、おでん・寿司・豚汁・ケーキ・コーヒー等を楽しみ、飲食します)があります。これらの行事に私達、保護者会役員は、積極的に参加し役員の役割として手伝いをしていくつもりです。

また、おぐに荘を取り巻く環境も徐々に変化しています。利用者の皆様の高齢化や地域生活を希望する利用者の皆様への地域移行のための訓練及びその新事業等、ますます業務内容が多くなってきています。今後、保護者会として協力できることがあれば、積極的に取り組みたいと思っていますので、保護者会の皆様も行事に積極的に参加して頂き、可能な範囲の中で、ご協力をお願いいたします。

理事長挨拶

『保護施設通所事業』を始めました



理事長
高橋 敏郎

今年度は年明けから大雪となり、厳しい冬を過ごしましたが、春になると一転して陽射しがあふれ、高温の日が続いて、桜の花も平年より一週間近く早く開花したように思います。保護者会の皆さまから、いつもおぐに荘の運営にご協力をいただき、厚く御礼を申し上げます。

今回この紙面をお借りしておぐに荘の新しい『保護施設通所事業』をご紹介します。

おぐに荘では利用者の方が再び地域に出て生活したいという希望に沿って、『居宅生活訓練事業』を行ってきました。近くの一軒家をお借りして、地域生活に必要なことを学んでいただき、地域移行が可能となるよう訓練を行ってきました。その内の三名の方が、おぐに荘を退所し、グループホームで生活することになりました。更に、次のステッ

プとして『保護施設通所事業』を開始いたしました。引き続き、週に三日おぐに荘に通所して訓練を継続し、更に高い生活能力を養いながら自立した生活を目指すことを目的としています。また、週二日は小国地内の「しづみ工房」に通って就労能力を高めています。

先日、グループホームの「かわはた寮(男性用)」と「ひまわりの家(女性用)」を拝見し、就労の場所を提供していただいている「しづみ工房」を訪ねてきました。グループホームは個室が整備されており、一人ひとり生活しやすい空間となっていました。「しづみ工房」では、他の利用者とともに、機械部品の加工や点検、箱詰め作業など職員と一緒に作業できる環境が整っており、安心して就労できる場所が確保されていると感じました。関係の皆さまから、この事業の仕組みを作っていただいたことに感謝するとともに、事業の目的が達成されることを願っているところ です。

利用者の皆さまとおぐに荘職員が協力して、この事業の目的達成に向け業務に励んでまいりたいと存じますので、今後ともよろしくご支援いただきますようお願いいたします。

おぐに荘の地域生活支援について

居宅生活訓練事業の様子

居宅生活訓練事業

地域生活を送りたいと考えている利用者を支援させて頂く、居宅生活訓練事業も第一期生が訓練を終え、今年の4月から、第二期生が訓練を開始しました。おぐに荘近くの一軒家で、地域で1人暮らしが出来る力を身に付けるために、訓練に励んでいます。地域住民の皆様も温かく見守って下さり、安心して訓練を行うことが出来ており、ありがたいと思っております。



金銭管理



服薬管理



調理訓練



健康管理



携帯電話の使用訓練

保護施設通所事業

1年間のおぐに荘の施設内の訓練と、2年間の居宅生活訓練事業での訓練を終えて、今年の4月1日から、3名の利用者が地域で生活しています。この3名は、小国町にあるしづみ工房様が運営しているグループホームで生活し、日中はしづみ工房様で作業を行う日と、おぐに荘の保護施設通所事業を利用する日があります。保護施設通所事業とは、1人暮らしに必要な能力のさらなる向上や安定した地域生活を送ることが出来るように、おぐに荘が引き続き支援させて頂く事業であり、今年の4月1日から開始しています。この事業に関しては、地域で生活している生活保護受給者の方が安定した生活を送ることを目的に、利用することも可能となっています。この3名の地域生活を支援するとともに、保護施設通所事業を多くの方から知って頂くために、取り組んでいきたいと思っております。

名前を間違えないように、気をつけます



作業(洗濯物仕分け)

整理整頓を心掛けています



居宅訪問

保護施設通所事業の様子

通帳番号を間違えないように...



金銭管理

濃い味付けにならないように注意しないと...



調理実習

ベシヤンコになるように潰さないように...



作業(空き缶潰し)

同じ大きさになるようにしないと...



作業(調理)

おぐに荘に来て頂き訓練を行う「通所事業」と、利用者の方の居宅に訪問し、訓練を行う「訪問指導」を行っています。下記が、訓練の一例です。

- ・調理実習
- ・健康管理
- ・服薬管理
- ・買物支援
- ・金銭管理
- ・通院支援
- ・生活相談
- ・作業
- ・手続き支援
- ・電話相談
- ・緊急時支援
- ・居宅訪問

おぐに荘を多くの皆様に知って頂くために

救護施設は、新潟県内だけでなく全国的にも他の福祉施設と比べて数が少ない現状にあります。福祉関係者でも救護施設がどのような施設か知らない方も多いようです。

そのため、おぐに荘をより多くの方に知って頂くための活動を行っています。ここでは活動の一部を紹介します。今後も継続して活動を行っていく予定です。

おぐに荘 見学説明会

年に1回、5月頃、福祉関係者を対象とした見学説明会を行っています。「救護施設のことは知っていたけど、短期間利用出来る一時入所や、地域移行を行っていることを初めて知って、参考になった。救護施設の事を知らない職員もいるので、今後参加してもらいたいと思った」などの感想を頂き、好評を得ています。見学は、いつでも受け付けておりますので、ご連絡の上、気軽にお越し下さい。



おぐに荘 紹介

おぐに荘のことをより多くの方に知って頂くために、おぐに荘の職員が出向き、おぐに荘の紹介を行っています。おぐに荘のことを言葉で説明するだけでなく、写真を用いて説明することで、おぐに荘のことをイメージしやすいという感想や、患者様が外に目を向ける良いきっかけになったとの感想を頂いています。

精神科病院の職員研修会



生活保護ケースワーカーへのおぐに荘紹介



新任職員紹介

今年度は3人の新任職員がおぐに荘のスタッフに加わりました。異動職員が3名です。5つの質問に答えてもらいます！

アンケート項目

- ①趣味は？
- ②アピールポイントは？
- ③好きな言葉は？
- ④福祉の仕事に就ききっかけは？
- ⑤意気込みをどうぞ！



看護師 金子真由美

- ①スポーツ観戦です。特に、フィギュアスケートはソチオリンピック前から、羽生結弦選手を応援していたので、アイスショーも時々、観に行きます。
- ②見るからに、丈夫そうな身体です(笑)。
- ③笑う門には、福来たる。
- ④30年位、医療に携わってきたので、福祉の分野にも興味を持ちました。
- ⑤皆様の健康を守るお手伝い出来るように、一日一日、一歩ずつ確実に仕事を行ってまいります。



介護員 島谷 邦彦

- ①趣味と言える程ではないのですが、5年くらい前から、好きなバンドのライブへ年2回ほど東京に行っています。暗い歌が好きですが、曲によっては年甲斐もなく、拳を振り上げたりもします。
- ②健康です・・・とりたいのですが、タバコを止めてから2年で体重も増え、健康診断の結果も総合判定がAからCになってしまいました。
- ③「体力温存」です。何事も余裕を持てるようにとの思いで、決してサボろうとしているわけではありません(笑)。
- ④正直言って、素晴らしい思いがあったのではなく、周りから合っているとされたからです。
- ⑤おぐに荘に来て、1ヶ月が過ぎました。まだまだ不安もありますが、職員の方やご利用者の方に教えて頂きながら、皆様の頼りにされる存在を目指し、頑張りたいと思います。



介護員 小俣 忠一

- ①将棋とカラオケです。
- ②字がとても綺麗です。人に言われたことはありませんが・・・(笑)。あと、すごく優しいです。本当です。
- ③言葉ではありませんが、「優」という漢字の形が綺麗で好きなので、自分の子供の名前にも使いました。
- ④機械を相手に仕事をするよりも、人とコミュニケーションを取りながら、仕事をしたいと思ったからです。
- ⑤微力ではありますが、おぐに荘のご利用者の皆様が、楽しく生き生きと過ごせますよう、私も努力したいと思います。よろしくお願いします。

ボランティア大募集

利用者の話し相手、草取り、施設整備等、慰問も大歓迎です！ボランティアに興味のある方は是非連絡して下さい。

連絡先 救護施設 おぐに荘
TEL 0258-95-3400
(担当：若月、水落)

平成29年度利用者動向

退所者			
柏崎市	：1名	柏崎地域	：1名
長岡市	：4名	加茂市	：2名
見附市	：1名	南魚沼市	：1名
三条地域	：1名	※合計	11名
新入所者			
柏崎市	：1名	長岡市	：2名
上越市	：1名	燕市	：1名
※合計	5名		

一泊旅行

毎年恒例の一泊旅行に行つて来ました。昨年は、「水族館に行きたい」という希望があり、長岡市寺泊水族館へ立ち寄った後、温泉旅館に向かいました。餌付ショーも見学し、楽しく見学することが出来ました。大きな魚や珍しい魚に、皆さん大興奮していました。



かかしまつり

小国町で行われた「かかしまつり」に、おぐに荘の利用者が作成した2体のかかしを出品しました。見事に、グループ賞を受賞することが出来ました。表彰式にも代表者が参加し、賞状と記念品を頂きました。「来年も、入賞を目指します」と作成した利用者の皆様は、意気込んでいました。



おぐに荘の行事

おぐに荘では
利用者の皆さんに楽しんで頂けるような行事を計画し
実施しています。



絵画教室作品見学

おぐに荘で、絵画教室の講師をされている荒井様が出展された作品展に、おぐに荘の利用者の作品も出展させて頂きました。小国町で開催されている作品展に、見学に行った利用者は、自分の作品を見つけ指を指し、とても喜んでいました。

節分

毎年2月の節分に、豆まきを行っています。職員・利用者が鬼の面をかぶり、鬼に仮装し楽しく豆まきを行いました。この日の昼食は、恵方巻きであり、美味しく頂きました。



皆様の善意に感謝します

ボランティア

順不同

のぎくの会様

小国独居老人ボランティア様

小国町老人クラブ様

ラーメン親父の会様

原田 英 昌様

船橋英昌会様

英昌会小国支部様

小国秀踊会様

民謡教室様

青柳 閑様 (手芸教室講師)

橘 会様 (生花教室講師)

植木 幸 子様 (踊り教室講師)

稲波 恵 子様 (かきかた教室講師)

相波 純 子様 (けんこつ体操講師)

荒井 友 香様 (絵画教室講師)

ゆうあいグループ様

ホーム喫茶「さくら」様

山崎豊士様・愛子様

(笑いと健康教室講師)

小国町理容組合様

小国 中学校様

新町盆踊り実行委員会様

盆踊りボランティア様 (運営補助)

越後「りん」様

中山 あかり様

夜 桜 會様

新潟産業大学学生様 (一名参加)

寄贈者一覧

(株)第四銀行様

小国町商工会様

原田 英 昌様

辺見 市 郎様

山崎 鉄 也様



苦情相談について

救護施設おぐに荘では提供する福祉サービスについて、随時苦情相談を受け付けています。ご意見、ご要望、苦情等ありましたら遠慮なく苦情受け付け担当者、第三者委員にご相談下さい。誠意をもって話し合いを行い解決、改善に努めます。

- 苦情解決担当者 山崎美千代 (おぐに荘 園長)
- 苦情受付担当者 遠藤 和哉 (おぐに荘 次長)
- 第三者委員
砂塚 一美 (新潟県柏崎市石曾根276)
小野塚正之 (新潟県柏崎市中浜1丁目8番29号)
宮田知津子 (新潟県柏崎市学校町4番75号)

- 苦情相談の申し出
苦情担当者、第三者委員に直接お話し下さい。
また、電話、書面、面談でも受け付けます。
電話 0258-95-3400
苦情受付窓口は、おぐに荘事務室に設置しています。
苦情の受付に際し、プライバシーについては十分に配慮いたします。

職員動向

新入職員

特別養護老人ホームむつみ荘

金子 真由美 (看護師)

特別養護老人ホームなごみ荘

島谷 邦彦 (介護員)

小俣 忠一 (介護員)

転出職員

救護施設かしわ荘

金子 真也 (介護員)

退職職員

中村 紀子 (主任介護員)

脇本 江里子 (看護師)

編集後記

昨年は、数年ぶりの豪雪となり、寒さも厳しい冬となりました。今は、残雪もすっかり消え、夏の訪れを感じさせる季節になってきました。

今年度は、定員変更・居宅生活訓練事業の第二期・保護施設通所事業を開始することになり、新年度から変化が多い一年となっています。全職員の力を合わせて、業務に取り組んでいきますと考えています。最後になりますが、皆様からのこれからの変わらぬご指導と、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。